

発行日：平成24年11月8日

いばらき秋の収穫祭が開催される！

梨の茨城県育成品種「^{けいすい}恵水」を試験販売

9月14日（金）～20日（木）までの1週間、JR水戸駅改札前にて、JR東日本水戸支社・（株）東日本リテールネット水戸支社との共催で、「いばらき秋の収穫祭」を開催し、秋の味覚である梨・栗・さつまいも・ぶどうのPR販売を行いました。

梨（豊水）はJA北つくば下館梨共同選果場、栗はJA茨城中央JA土浦千代田栗部会、さつまいもはJAかしまなだ・JAひたちなか勝田・東海のかんしょ部会、ぶどう（巨峰）はJA茨城みずほ常陸太田ぶどう部会の皆様の協力のもと、今が旬の秋の味覚を消費者の皆様に提供できました。

15日（土）には、梨の県育成品種である「恵水」と今が旬の「豊水」の試食を用意、食べ比べてのアンケートを行い、204名の皆様から意見をいただく事が出来ました。アンケートの結果は、下記の記事を参照して下さい。

また、ぶどう・さつまいも・栗やスイーツ類も主婦の皆様や、会社帰りのサラリーマンにも購入いただき、最終日には全商品を完売し、大いにPR出来ました。



【梨の新品種「恵水」の紹介と「恵水」「豊水」食べ比べアンケート】

茨城県農業総合センター生物工学研究所で育成された梨の新品種「恵水」は、9月中～下旬に収穫される中生の赤梨です。平成23年12月に品種登録されました。

- 【特徴】○「新雪」×「筑水」の交配 ○9月中～下旬の収穫 ○500～600gの大玉果
○甘みが強く、香りがあり、酸味が少ない品種 ○日持性が良く冷蔵長記貯蔵可能



【「恵水」「豊水」食べ比べアンケート結果：204名回答】

○「豊水」を基準（普通）と考えた場合、「恵水」の評価
（5段階評価：不良・やや不良・普通・やや良い・良好）

- ①食味・・・86%の人がやや良い・良好と回答
- ②食感（シャリ感）・・・82%の人がやや良い・良好と回答
- ③外観・・・73%の人がやや良い・良好と回答
- ④コメント・・・甘く食感も良く美味しい。

味が濃くジューシー。

少し酸味があっても良い。など

放射性物質事故に対応した使用済み農業用プラスチックの回収について

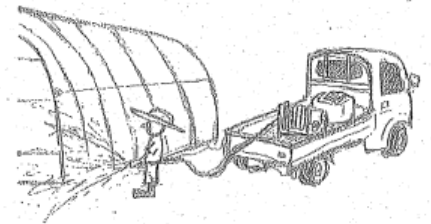
当協会では、農村環境の保全、施設園芸の健全な発展のため、市町村協議会等からの委託を受け、農家の皆様から排出される使用済み農業用プラスチックの回収と中間処理を行っており、回収した「農ビ」は主として床材として、また、「農ポリ」は様々なプラスチック製品の原料や発電用燃料として全量リサイクルしております。

昨年 3 月に発生した東京電力(株)福島原子力発電所事故以降、当協会においても回収した農業用プラスチックなどを対象に、定期的に放射性物質検査を実施しておりますが、プラスチックからは微量ながら放射性物質が検出されており、また、中間処理の過程で発生した洗浄残土(汚泥)の処分も大きな負担となっております。

こうした状況を踏まえ、今後、農業用プラスチックを排出される場合には、原発事故による放射性物質対策として、以下の点についてもご留意いただき、本県での農業用プラスチック処理対策が今後も継続して実施できるよう、農業者の皆様のご協力をお願いします。

【放射性物質対策として、回収に当たり留意していただきたい事項】

- 1 使用済みプラスチック(農ビ、農ポリなど)を排出する場合には、できるだけハウスに張ったままの状態、高圧洗浄機や動力噴霧器などを用いて丁寧に洗浄して表面に付着している土砂等を洗い流してください。
- 2 また、土砂等の付着が多い埋設部分は切り離し、必ず水洗いをして土をよく落として下さい。
- 3 マルチとして使用した農ポリ、農POなどは、よく土を落としてから定められた方法(つづら折り、重さ10kg程度)できちんと梱包して集積場所へ搬入して下さい。
なお、プラスチックを回収する際、市町村協議会では搬入単位(農家単位、車両単位)ごとに放射線の測定を行います。



【引き続き回収に当たり注意していただく事項】

農業用プラスチック処理対策が適正に行われるよう、以下の点について、引き続き注意の上、使用済みプラスチックを排出して下さい。

- 1 回収は、回収後の処分方法が異なることから「農ビ」と「それ以外のもの」(農ポリ、農PO)に分けて実施しています。必ず区別して梱包、搬入して下さい。
- 2 また、梱包等する際には作物の残さや木片、金属片などの異物が混入しないよう十分に注意して下さい。
- 3 なお、山林や河川などへの不法投棄や野焼き等の禁止行為は絶対にしないで下さい。

- 「農ビ」には農ビと統一マークがプリントしてあります。
- 荷造りにあたっての注意点(農ビ、農ポリ共通)
 - ・よく乾燥させて泥等をできるだけ落とし、作物の残さ、木片、ハトメの金属片、ハトメ穴に通した紐などの異物を取り除いて下さい。
 - ・ヤケ等によるリサイクルできないものは除いて下さい。
 - ・農ビ・農ポリの荷造りは、下記を参考にして下さい。ふろしき包み、のり巻き包みにはしないで下さい。



つづら折りにする
幅80cm~100cm 高さ25cm



重さ10kg程度とし、2か所しぼる。同じ材質のヒモを使う。
(農ビはビニールの端切れ、ポリは市販のポリヒモ又は端切れ)

野菜・花きの優良種苗を供給します！

園芸種苗センター

園芸種苗センターでは、野菜・花のセル成型苗や県育成品種の種苗を県内産地に供給し、産地づくりに貢献しています。

茨城かがやきプラグ

トマト、キュウリ、ナス、ピーマンなどの野菜、アスター、パンジー、トルコギキョウなどの花卉のセル成型苗を生産、販売しています。果菜類では接木苗も生産します。

それぞれの品目の育苗ステージに適した環境条件を自動制御で管理し、良質苗の生産に努めています。茨城かがやきプラグの利用により、発芽が難しい・移植に手間がかかるなど育苗の問題点を解決し、育苗作業の省力化、播種、接木労力の削減につながります。

ご注文を受けてから生産し、コンピューターを使用して品目・時期ごとの育苗を行ない、ご希望の日に納品できますので、野菜・花卉の計画的生産・省力化に茨城かがやきプラグを取り入れてみませんか。

茨城かがやきプラグの種類と規格

品目	トレイタイプ	育苗日数	出荷時本葉数	保証本数
トマト自根苗	288穴	21日	1枚前後	250本
トマト接木苗	72穴	50日	3枚前後	70本
	128穴	45日	2枚前後	125本
	200穴	42日	2枚前後	195本
ナス自根苗	288穴	30日	1枚前後	250本
ナス接木苗 (ナス台木)	128穴	53日	3枚前後	125本
	200穴	50日	3枚前後	195本
ナス接木苗 (トルバム台木)	128穴	60日	3枚前後	125本
	200穴	57日	3枚前後	195本
ピーマン自根苗	288穴	30日	1枚前後	250本
ピーマン接木苗	128穴	50日	3枚前後	125本
キュウリ接木苗	72穴	30日	2枚前後	70本
	128穴	27日	1.5枚前後	125本
トルコギキョウ	288穴 (3粒播)	60日	4枚(2対)	500本
パンジー・ビオラ	406穴	30日	4枚前後	280本

※上記以外の品目やトレイタイプも生産しています。

※育苗日数は目安です。時期や品種で変わります。

茨城県育成品種

県で育成した園芸品種の種苗を生産・販売しています。特長ある県オリジナル品種を栽培してみませんか。

○イチゴ 「ひたち姫」酸味が少ないので、甘みを強く感じる品種です。果実はやや軟らかく、サクサクとした食感で、やや長い果形が特徴です。

「いばらキッス」糖度が高く、酸味とのバランスも良いため、味が濃く食味が優れます。適度な硬さでジューシーな食感も特徴です。本県期待の品種です。

○メロン 「イバラキング」果実の肥大性が良い品種です。糖度が安定して高く、さわやかな甘さと滑らかな食感で、食味が優れる品種です。

○赤ネギ 「ひたち紅っこ」鮮やかな赤紫色に発色する長ネギです。葉鞘が柔らかく、甘く食味が良い品種です。

○コギク 「常陸シリーズ」 9 品種

- 「サニールビー」 6月中下旬出荷用、濃い赤紫色品種
- 「サマーレモン」 7月出荷用、レモンイエロー系の黄色品種
- 「サニーホワイト」 7月東京盆出荷向、純白に近い白色品種
- 「サマーゴールド」 8月旧盆～盆明け出荷向、黄色品種、緑色の照り葉が特徴
- 「サマースノウ」 8月旧盆出荷向、白色品種、光沢のある照り葉が特徴
- 「サマールビー」 8月旧盆出荷向、赤紫色品種、分枝・花蕾数多くボリュームある草姿
- 「オータムレモン」 9月上中旬出荷用、レモンイエロー系の黄色品種
- 「オータムホワイト」 9月彼岸出荷向、白色品種、分枝・花蕾数多くボリュームある草姿
- 「オータムパール」 9月彼岸出荷向、白色品種、切り花長やや短く締まった草姿



ひたち姫



ひたち紅っこ

コギク「常陸シリーズ」

	6月	7月	8月	9月
赤	 常陸サニールビー	常陸サマールビー		常陸オータムホワイト
白	常陸サニーホワイト 	常陸サマースノウ	 常陸オータムパール	
黄	常陸サマーレモン	 常陸サマーゴールド		 常陸オータムレモン

茨城県農業総合センター資料

県園芸施策等への要望書提出

当協会では、県内園芸農家の所得の向上と経営の安定を図り、県内園芸産地のさらなる発展を実現するため、9月21日(金)、茨城県庁舎農林水産部長室において、会田真一代表理事から柴田眞幸茨城県農林水産部長へ18の項目について要望しました。

内容は、県内の主な園芸生産組織等からの意見や提案をもとに、若手農業者が魅力を感じるような最先端技術の導入支援の強化の他、生産・販売実態の解析に基づく将来を見据えた県産果樹の振興方策の策定と実践、県と生産者が一体となった県産園芸作物の販売促進対策の強化、6次産業化の推進に向けた研究開発や県・農業団体が一体となった推進活動の強化など多岐にわたるものとなっております。

当日、柴田農林水産部長からも本県農業の中心は園芸部門であり、この分野での生産対策と販売促進は極めて重要であるとのコメントがあり、特に、販売促進については会田代表理事と熱心な意見交換となり、販売促進をはじめとして今後の園芸振興施策が大いに期待されるところです。

茨城県産、栃木県育成品種なし「にっこり」販売開始

茨城県梨組合連合会では、平成22年3月に栃木県と栃木県育成品種なし「にっこり」の利用契約（許諾）を締結し、平成22年4月からにっこりの苗木を県内農家へ配布してきました。

許諾を受けている生産者は平成24年9月から果実の販売が可能となり、数量的にはわずかですが、茨城県内各産地で販売が開始されました。

茨城県内で、「にっこり」を栽培したい方は、公益社団法人園芸いばらき振興協会内茨城県梨組合連合会事務局までご連絡下さい。



【許諾期間】平成22年4月1日～平成26年8月22日まで

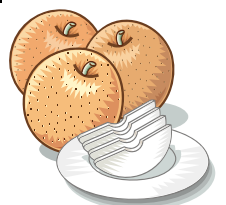
【許諾条件】

- ① 茨城県梨組合連合会が行う本品種の種苗の生産、調整、譲渡の申出、譲渡及びこれらのための保管の行為とする。但し、これらの行為は、茨城県内に限る。
- ② **平成24年3月31日までは、収穫物(果実)の販売は行わない。**

	栽培開始可能時期	果実販売可能時期
許諾を受けた者	平成22年4月1日～	平成24年4月1日～
許諾を受けていない者	平成26年8月23日～	

(種苗法の保護期間は、平成26年8月22日までであり、その後は、許諾を受けていない者も栽培可能となる。)

- ③ **収穫物(果実)の販売名は「にっこり」に限定する。**
※「にっこり」を別名で販売することはできません。



県産農産物の販売PRを行いました！

茨城応援フェスティバル in 友部 SA にて梨を販売PR

茨城県梨組合連合会研究部会

9月23日、常磐自動車道上り線友部SAにおいて「元氣いばらき！茨城応援フェスティバル in 友部SA」が開催されました。

茨城県梨組合連合会研究部会が参加し、茨城の梨の試食販売を行いました。当日は、あいにくの雨でしたが多くの方がテントに立ち寄り、「あきづき」を試食され甘さに驚かれていました。「あきづき」をご存じの方は少なく、初めて知ったという方が大半でしたが、その美味しさにまとめて購入される方もいらっしゃいました。雨に降られましたが、たくさんの方に「あきづき」を知っていただく良い機会となりました。



東京ガススローフードワークショップで栗PR

茨城県くり生産者連絡協議会

東京ガスのスローフードワークショップとは、毎日口にするものの背景を知ること、食の喜びを深く実感しようという運動です。今回は「栗を美味しく学ぶ」と題し、9月29日に東京ガスキッチンランド調布で開催され、当協会職員が栗に関する講話を通じて茨城産栗のPRを行いました。

120名を超える応募者のなかで、抽選で参加された24名は、間違いなく栗ファンになったと思われます。参加者全員に栗1kg(3L)を、くり協議会よりプレゼントしました。



カシマスタジアムでいばらきのさつまいもPR

茨城県かんしょ生産者連絡協議会

茨城県かんしょ生産者連絡協議会は、“10月13日はさつまいもの日”に向けて、10月6日鹿嶋市の県立カシマサッカースタジアムで、ほくほくして甘い県産のさつまいもを無料で配り、サッカーファンに消費拡大を呼び掛けました。

この日は鹿島アントラーズのホームゲームで、FC東京との試合が行われ、開場と同時に3本入りを1500袋配布。同協議会の会員や県関係機関など関係者や23人が、紅色の皮で、中身は黄色のぼくぼくとした食感の「ベニアズマ」を手渡し、旬のさつまいもをPRしました。



栗の品質規格検討会を開催 全国第1位の産地、大田市場で卸売業者と真剣討議

平成24年9月28日、東京都中央卸売市場大田市場において、茨城県くり生産者連絡協議会（会長：川上 好孝）主催により、協議会員、卸売会社、県、JA等関係機関が出席して品質規格検討会が開催されました。今回は、主要な取引先である京浜地区市場の生の声を直接聞きたいと、初めて大田市場で開催されました。

品質調査を茨城県農産物販売推進東京本部の協力を得て、県内7産地、県外（熊本産）1産地の計8サンプル（各10kg/1cs）を、茨城県農業総合センターの果樹担当専門技術指導員、同園芸研究所果樹研究室の研究員が厳しい目で、不良果等を入り分けました。

この結果と調査した現物を展示し、品質、商品力アップに向けた意見交換が実施され、産地、市場ともに流通、販売面でヒントとなる意見も見出され、今後に期待されます。



県内小中学校対象の県産野菜活用料理セミナー

当協会では、県産野菜の消費拡大と県内の児童の皆様に、野菜に興味を抱いてもらうきっかけづくりとして、学校法人中川学園への業務委託により県内の小・中学校等を対象に県産野菜料理セミナーを実施しています。

本年度は、7月の鹿嶋市立鹿野中学校を皮切りに県内11の小・中学校と1市町村学校給食会でセミナーを実施または計画しています。



セミナーでは、「きょうの料理」（NHK）や「キューピー3分クッキング」（NTV）などでもおなじみの中川学園調理技術専門学校の中川一恵先生による野菜類の栄養の面からの必要性などの講話の他、ご父兄や学校職員の皆様にもお手伝いいただき県産野菜を利用した調理実習を行いました。児童の中には、初めて包丁を握る子や中川先生の調理に感激する子など様々ですが、皆さん積極的に参加され、野菜に興味を抱く最高の機会となったようです。

茨城県農産物マッチングサイトの推進状況

当協会が運営する、本県の農業者と全国の食品事業者等を結ぶマッチングサイトが平成24年1月30日にスタートして9カ月が経過しました。これは本県の農業者が売りたい商品情報と、本県農産物に関心のある全国の食品事業者の買いたい商品情報を登録し一般に公開するものです。取扱い品目は 当初の青果物（野菜・果樹）・その加工品に、7月15日から穀物とその加工品も加わりました。

茨城県農産物マッチングサイトアドレス www.ibaraki-agrimatching.net

【登録状況について】 11月5日現在

- 会員登録件数 89件 農業者関係66件 食品事業者23件 (うち県外は5件)
- 商品情報登録件数76件 農業者関係59件 食品事業者16件 (うち県外は9件)
- マッチング成立件数5件
(ラッキョウ・ルバーブ・スイートカクテルペッパー2件・干し芋)

さらに現在、コーディネーターが情報収集やニーズの掘り起こし、橋渡しやフォローアップを行い取引成立に向けて積極的にサポートをおこなっております。

【ある日の商談の様子】

午前11時から商談開始しました。
購入食品事業者は都内からお二人で来られ、美味しく安全な農産物に期待を込め、その販売方法等などについて熱き思いを話されました。
農家の親父さんからは、これまでの取引業者との経験や苦勞を踏まえて価格は決して無理せず再生産できる価格設定を希望していること。そして収穫作業について食味・鮮度に十分に留意していることが話されました。取引条件を双方で確認後、ニンジン・大根・白菜の圃場を案内して頂きました。



編集・発行

公益社団法人 園芸いばらき振興協会

〒311-4203 水戸市上国井町3340番地

TEL: 029-222-8511 FAX: 029-222-8513

ホームページ: <http://www.engei-ibaraki.or.jp/> E-mail: srs@engei-ibaraki.or.jp

●園芸リサイクルセンター

〒31-3137 東茨城郡茨城町網掛1154-1
TEL: 029-293-6800 FAX: 029-293-6860

●園芸種苗センター

〒311-4203 水戸市上国井町3118-2
TEL: 029-239-7600 FAX: 029-239-7601